

誰もが気軽に楽しめるニュースポーツ

◎ニュースポーツ体験デー 2017

ラケットテニスを楽しむ参加者たち



「ニュースポーツ体験デー2017」は11月25日、鬼北総合公園体育館で行われました。これは、新しいスポーツの定着を図り、スポーツ人口の増加と、町民の健康増進を目的として行われているもの。今回は、バトミントンコートで、短いラケットを使用してスポンジボールを打ち合う「ラケットテニス」に挑戦しました。ラケットテニスは、「いつでも、誰でも、楽しく、安全にできる」のが特徴。参加者たちは、このスポーツの醍醐味を存分に味わいながら、汗を流していました。

安心して暮らせる地域づくりのために

◎ふるさとづくりワークショップ(集落点検)

集落を巡回し、点検する参加者たち



11月19日、奈良下組で「ふるさとづくりワークショップ(集落点検)」が行われました。この日は、大規模災害により、奈良下組にある嘉市ヶ奥池と烏頭台池の2箇所のため池に異常が発生した場合を想定し、避難訓練と併せて、防災集落点検を実施しました。避難訓練後、参加者たちは、まず、ため池の役割や決壊のメカニズム等について学習。その後、3班に分かれて集落を巡回・点検し、集落点検結果をまとめたマップを作成しました。参加者たちは、それを基に意見を出し合い、奈良下組の地域防災力の向上を図っていました。

後世に受け継がれる地域の伝統

◎遺跡まつり

友人とともにお茶会を楽しむ参加者



11月26日、泉小学校、泉公民館および岩谷遺跡公園を会場に、「遺跡まつり」が行われました。これは、泉地区の伝統と文化を継承することを目的として、毎年開催されているもの。会場では、泉小学校の児童たちが鬼北町老人クラブの皆さんや、地域有志の方々とともに育てた古代米で作ったおにぎりの販売や、野菜やお菓子などのフリーマーケット、さらに、お茶会が実施されました。また、泉小学校体育館では、書道や切り絵など、地域の人たちの力作を多数展示。そして、ステージでは芸能発表が行われ、会場を盛り上げていました。

細部までこだわった華やかな世界

◎きほく生花展・お茶会

創意工夫された生花の数々



「きほく生花展・お茶会」は11月25日と26日の2日間、広見体育センターで行われました。小原流、池坊、草月流、嵯峨御流、未生流の5流派が一堂に会すこの生花展。会場には、それぞれの流派の特徴を表現しつつも、制作者が細部までこだわった作品が多数展示され、訪れた人たちは、それらを一一つじっくりと眺めたり、写真を撮ったりしながら、楽しんでいました。また、26日には会場内でお茶会が行われ、訪れた人たちは、心安らぐひとときを過ごしていました。